

地域子育て支援拠点事業

担当課名 子育て支援課

※下記の点について、ご記入をお願いします。
不足する場合は、別途資料等をご提出願います。

■本市における事業名						
地域子育て支援拠点事業						
■事業の概要						
乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所を常設し、子育てについての相談、情報提供などを行います。						
■現計画策定時の確保方策の考え方						
地域子育て支援拠点事業については、実施場所や回数の増、内容等について既存施設の利用拡大や新設等により、地域の実情に即し体系的に今後検討していきます。						
□4年間（令和2年～令和5年）の事業実施の経過（推移）と内容						
・確保提供量と実利用者数						
	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①確保提供量 (人)	子育てひろば	10,750	10,750	15,200	15,200	15,200
	カンガルーひろば	9,020	9,020	8,910	8,910	8,910
	つちのこひろば	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
②実利用者数	子育てひろば	4,656	4,367	5,247		
	カンガルーひろば	2,047	1,994	1,896		
	つちのこひろば	2,645	3,868	5,027		
②-①	子育てひろば	6,094	6,383	9,953		
	カンガルーひろば	6,973	7,026	7014		
	つちのこひろば	475	-748	-1907		
施設数		9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
・事業の経過						
<p>子ども家庭支援センターの子育てひろばは、令和4年度までは富士見台3丁目の施設で運営してきた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用控え等により利用実績は見込みよりも少ない傾向にあったが、入れ替え制による人数制限等の工夫により、事業を継続してきた。令和5年4月より矢川プラス内に移転し、(福)くにたち子どもの夢・未来事業団が運営することとなり、ひろばの面積が拡充され、木曜日以外は開館となり、子育て講座等の充実を図り、利用者数が大幅に増加した。一方、特に市外の利用者数が増加したことにより、市内利用者から、利用がしにくくなったとの意見が寄せられている。</p> <p>つちのこひろばは、谷保地域での地域子育て支援拠点としてNPO法人くにたち農園の会に委託して実施している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用控え等により利用実績は見込みよりも少ない傾向にあったが、入れ替え制による人数制限等の工夫により、事業を継続してきた。当初より週3日（+出張ひろば1日）の開設で</p>						

裏面もあります。

運営しているが、親子が安心していつでも寄ることができる場所として、開設日数を増やすよう意見が寄せられている。

次年度以降の方向性

子ども家庭支援センターの子育てひろばについては、上記の経過から、引き続き、(福)くにたち子どもの夢・未来事業団と連携しながら、より利用がしやすいひろばとして安定的な運営ができるよう、施設利用方法の見直しを図るとともに、子育て講座やスタッフの充実を図る。

つちのこひろばについては、充実したひろば運営や配慮を必要とする家庭への対応のため、引き続き、NPO法人くにたち農園の会と連携しながらひろば事業を実施するとともに、開設日数の拡充や安定的な運営に必要な体制の構築を図る。

また、令和7年度中に、国立駅南口に子育て支援施設を開設予定であり、同施設内で子育てひろばを展開する予定である。施設開設に際して、親子が安心して過ごせる場所として気軽に利用できるひろばとなるよう、運営内容について検討を進めていく。

その他

以上で調査は終了です。
ありがとうございました。